



2026 年 1 月 23 日

報道関係各位

株式会社 AdvanSentinel  
国立大学法人鹿児島大学  
マルイ農業協同組合

## 渡り鳥が飛来する湖沼水での鳥インフルエンザウイルス検出情報を 養鶏事業者の防疫に活用する共同研究を開始

株式会社 AdvanSentinel（本社：大阪市、代表取締役社長：西田 都、以下 AdvanSentinel）、国立大学法人鹿児島大学（大学長：井戸 章雄、以下鹿児島大学）およびマルイ農業協同組合（鹿児島県出水市、代表理事組合長：高松 信吾、以下マルイ農協）は、渡り鳥が飛来した湖沼水からの高病原性鳥インフルエンザウイルス（以下 HPAI ウイルス）の検出が養鶏場における防疫に与える有用性についての共同研究を開始しました。

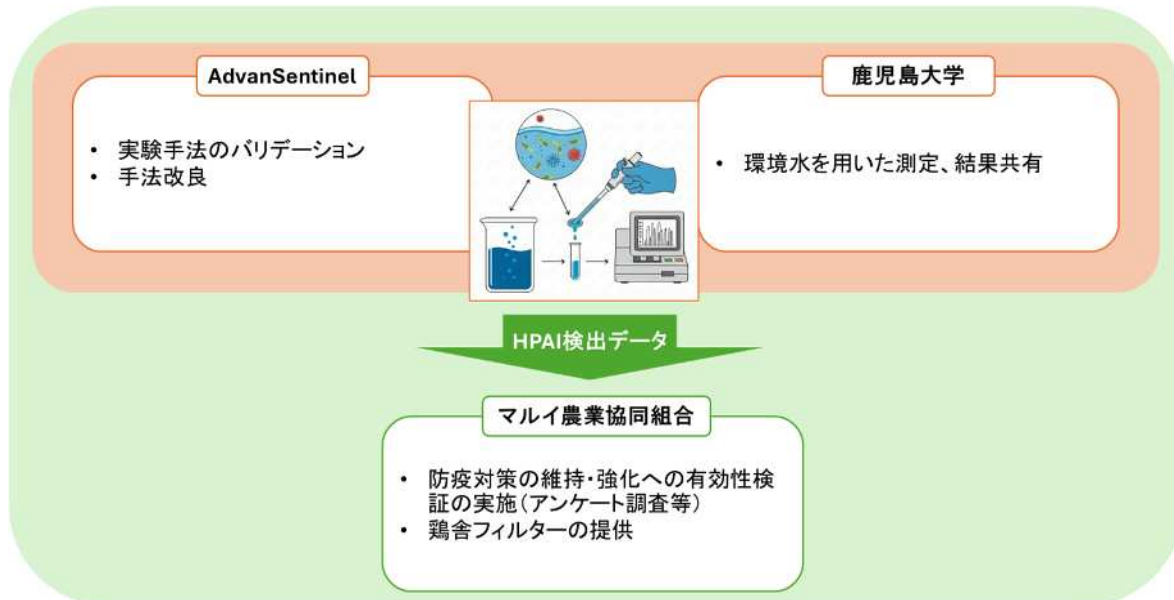
AdvanSentinel と鹿児島大学は 2024 年度シーズンよりツルのねぐらとなる湖沼からの HPAI ウイルス検出に取り組んでおり、モニタリングデータ取得を完了しました。今後は新たに養鶏事業者へのアラート発信とその有用性検証を行います。

本共同研究ではマルイ農協が所在する出水平野の湖沼やため池を分析します。HPAI ウイルスが検出された場合、マルイ農協に加盟する各養鶏場に対し HPAI 警戒アラートを発信します。当該情報が防疫に与える影響や行動変容を収集し、情報発信が有益であるかを調査・検証します。

### 【共同研究の概要】

- 研究題目：鹿児島県出水平野における環境サーベイランスデータを用いた高病原性鳥インフルエンザウイルス防疫対策の有効性検証
- 研究実施場所：鹿児島大学共同獣医学部、鹿児島県出水平野、株式会社 AdvanSentinel
- 研究期間：2025 年 10 月 1 日～2026 年 6 月 30 日
- 研究の内容：
  - ① 出水平野での HPAI ウイルスの調査
  - ② マルイ農協への HPAI ウイルス検出情報の伝達、
  - ③ マルイ農協からの警戒アラート発信、行動変容を収集
- 研究担当者  
鹿児島大学  
小澤 真（教授 共同獣医学部 越境性動物疾病制御研究センター）  
<https://www.vet.kagoshima-u.ac.jp/animalhealth/>

【共同研究体制図】



【お問い合わせ先】

株式会社 AdvanSentinel  
TEL：06-6209-6837  
お問合せ： <https://advansentinel.com/ja/contact>

国立大学法人鹿児島大学  
＜研究に関すること＞  
鹿児島大学 共同獣医学部共同獣医学科 教授  
小澤 真  
TEL：099-285-3651  
E-mail： [mozawa@vet.kagoshima-u.ac.jp](mailto:mozawa@vet.kagoshima-u.ac.jp)

＜報道に関すること＞  
鹿児島大学広報センター  
TEL：099-285-7035  
E-mail： [sbunsho@kuas.kagoshima-u.ac.jp](mailto:sbunsho@kuas.kagoshima-u.ac.jp)

マルイ農業協同組合 生産事業部生産課